

「群馬県支部会報」

発行
令和7年5月12日
公益社団法人 日本技術士会
群馬支部 広報委員会

活動報告

「被災者支援の士業団体相互協力」協定締結！

■日 時：令和7年3月5日（水） 15:00～

■場 所：弁護士会館



■ 調印する山本支部長



■ 各士業団体のみなさま

【目的】

各士業団体相互の協力関係を強化し、災害対策基本法において、それぞれの専門性を活かして被災者等の支援活動を行うことで、被災者等の生活再建に寄与することを目的とします。

【各士業団体】

群馬弁護士会、群馬司法書士会、

群馬土地家屋調査士会、群馬県行政書士会、

群馬県社会保険労務士会、関東信越税理士会群馬県支部連合会、

公益社団法人群馬県不動産鑑定士協会、一般社団法人群馬県建築士事務所協会、

群馬県精神保健福祉会、一般社団法人群馬県社会福祉士会、

一般社団法人群馬県医療ソーシャルワーカー協会

公益社団法人日本技術士会群馬県支部

一般社団法人群馬建築士会

「人口1千人上野村に学ぶ脱炭素への取り組み」

概要

■講師：金谷 晃 様 [H & A環境計画株式会社 代表取締役 技術士(建設)]

■日時：令和7年2月21日(金) 14:30~16:30

■場所：Webによる会議

講演内容

2. 上野村について

2-4. 第2期までの取組概要

はじめに (脱炭素先行地域)

脱炭素先行地域に選定

～脱炭素とともにレジリエンスの強化～
「マイクログリッド構築」

①多様な広葉樹に対応した最適な作業手法の研究開発 <資材費>

空中写真・ドローン等による資源量分析

空中写真(林野庁所収、5年毎)、ドローン写真等を分析し、上野村民有林全域(企業有林を除く)の資源量を把握。

森林測定の方法の比較と応用

森林測定方法	測定技術	精度	測定費用	主な応用分野
地上LiDAR測量	レーザー測定と点群生成 (SLAM)	数mm	10~60万円/ha	伐採前の詳細調査
FローンLiDAR測量	レーザー測定と点群生成 (SLAM)	数cm	5~25万円/ha	保安管理・作業道設計
ドローンSfM測量	画像写真の熱点による点群生成 (SfM)	20~30cm	2~3万円/ha	林相単位での資源量把握
空中写真SfM測量	画像写真の熱点による点群生成 (SfM)	1~2m	20~40万円/ha	町村単位での資源量把握
SLAM (Simultaneous Localization and Mapping)	3Dデータ差分による測定地点の推定法			
SM (Structure from Motion)	高精細な画像認識による3D化技術			

ステレオ写真(ドローン) SfM 行状把握
ドローンSfM樹高 数ha規模で樹高も併せて確認
空中写真SfMによる 数千ha規模を数分で把握

③広葉樹燃料製造の低コスト化の研究開発<チップ化・乾燥工程>

チップ化・乾燥工程

多種多様な特性を持つ広葉樹を前提として、熱電併給施設で利用できる高品質チップを製造する上での課題を整理し、低コスト化方を検討する。

樹種別・部位別直径別の分類
樹種別・部位別の把握
樹種別・部位別の把握
樹種別・部位別の把握

水浸し(1割) → スプリッター → 定置式チップパー(直径35cm以下) → 乾燥機 → 水分50% → 乾燥機 → 水分10%

高水分樹種の把握方法
樹種別の把握
樹種・部位ごとの樹種・部位ごとの把握
乾燥による樹種の把握

伐採・集材コストと同じ樹種・部位の分類で、チップ化・乾燥コスト

5. 地域脱炭素の計画づくりについて

5-8. 再生エネの現実的な利用可能量を知る

● 現実的な再生エネ(再生可能エネルギー)の導入可能量は、事業性がよくないものも含まれ、事業性を考慮した導入可能量を把握し、発電コストも低く抑えたい。

● 事業性を考慮した再生エネ(再生可能エネルギー)の導入可能量は、発電コストも低く抑えたい。

● 再生エネを利用する際の環境負荷を考慮し、経済性を評価した上で、導入の時期をすることが必要

● 再生エネを利用する際の環境負荷を考慮し、経済性を評価した上で、導入の時期をすることが必要

● 再生エネを利用する際の環境負荷を考慮し、経済性を評価した上で、導入の時期をすることが必要

5. 地域脱炭素の計画づくりについて

5-14. 地域脱炭素を促進する区域を設定する

● 地域脱炭素促進事業制度では、各自治体において民間事業者が地域再生エネ事業の導入拡大を図ることが期待されている。

● 地域脱炭素促進事業制度による促進区域の設定は、区域開発・振興のため、地域再生エネの導入拡大を図ることが期待されている。

● 促進区域を設定することにより、地域再生エネの導入拡大を図ることが期待されている。

● 促進区域を設定することにより、地域再生エネの導入拡大を図ることが期待されている。

感想

当支部では、被災者支援の協定の締結をうけ、支部としてより一層、社会貢献に努めてまいります。

また、講演会は、脱炭素ドミノの起点となるべく、国の脱炭素先行地域事業に採択された群馬県上野村の取組を紹介していただきました。このテーマは、複数の技術分野に係わりがあることから、聴講者にとって興味深いだけでなく、実務経験を活かした具体的な説明で、有益だったと思われる。先生ありがとうございました。